

2013 年度後期助成

完了報告書

テーマ

医療介護連携のための食支援研修会

「食支援で在宅は変わる、食べる幸せと食べていただける幸せ」

平成 26 年 9 月 1 日

NPO 法人食事ケアサポーターズ

背景と目的

在宅医療現場の課題の一つに低栄養や嚥下障害の治療・ケアがあげられますが、この課題は多職種が連携して治療・ケアを行わなければ解決されないと考えられています。

そこで本研修会では、全国レベルで活動されている演者2名を招き多職種協働の重要性、介護と医療の連携の必要性などを議論し、地域の在宅医療介護現場で働く様々な職種へ食支援の必要性やノウハウ、チーム作りなどについて研修する機会を提供したい。

日程・場所

平成26年8月23日（土）午後2時～午後4時30分
玉名市市民会館（熊本県玉名市岩崎152-2）

演者

シンポジウム形式

招待演者1. 石黒幸枝氏（歯科衛生士、前滋賀県歯科衛生士会会長）

招待演者2. 奥村圭子氏（管理栄養士、在宅栄養支援の輪世話人）

招待演者3. 松本龍氏（熊本県民テレビ 医療番組制作者）

特別コメント 安成英文氏（医師、たまな在宅ネットワーク代表）

司会 前田圭介氏（医師、NPO法人食事ケアサポーターズ代表）

参加者

介護関係職 34名

医療関係職 32名

その他 5名

内容

- 1) 石黒氏は、所属している病院や介護施設内での口腔ケアや摂食嚥下チームの活動内容、近隣地区内での取り組み、県下職能団体間の食支援連携、他地域での活動についてその方法や課題、取り組む意味、今後の目標などについて発表した。
- 2) 奥村氏は、自身のケアマネージャーとしての在宅療養者への支援、管理栄養士としての支援を具体的事例を多く提示し、在宅高齢者にとって食べることは、在宅医療の中での食支援の現状や課題、今後の目標などについて発表した。
- 3) 松本氏は、熊本県で最も多くの医療機関、介護施設を自身の目で見て来た人物であり、自ら取材した5年間を振り返り、地域包括ケアシステムの中で「食べること」がいかに重要なのか、様々な場所で取り組まれている事例を通じ患者目線の率直な意見を発表した。
- 4) 安成氏は、在宅訪問診療を日々行っている開業医である。在宅療養を行う高齢者の現状を踏まえつつ、医師が食支援に目を向けることの重要性、多職種、家族を巻き込む支援の重要性について議論した。
- 5) 全員討論では、私達が明日以降新たにに取り組めること、食支援を行う意義、多職種が関わる意義等について参加者の意見を踏まえ考えた。

感想

食支援は医療介護に関わる全てのスタッフが絡み、決して他人任せにはいけない、在宅医療の中で重要な支援であるという共通認識が生まれた。ご発表内容や討論内容を踏まえ、今後この地域でどういう取り組みが生まれてくるのか、今後の展開にとっても興味もたれる。

参加者は見込み人数よりも少なかった。これは隣接市内で栄養系研修会・講演会が2件同日に開催された影響を考えたが、そのほかに食支援を多職種で行うという価値観がまだ地域に浸透していない可能性もあげられた。

小さな勉強会や研修会でも地道に続け、地域に食支援の輪が根付くように、今後も地元各種団体とともに働きかけていく必要があると思われた。

本研修会は

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成により開催された。

医療介護連携のための食支援研修会

The たまな 食支援塾

食支援で在宅は変わる、
食べる幸せと食べていただける幸せ

講演 1
つたえる つづける
地域でつなぐ食支援
～食はみんなのもの～
石黒 幸枝氏 ■ 歯科衛生士
公益社団法人地域医療振興協会 地域包括ケアセンターいぶき



講演 2
在宅要介護高齢者
にとっての
食べる意味について
奥村 圭子氏 ■ 管理栄養士 ■ 介護支援専門員
在宅栄養支援の和 世話人



講演 3
「Dr. テレビたん」
を通じて感じた
「食べる」ことの大切さ(仮)
松本 龍氏 ■ 医療番組テレビマン
熊本県民テレビ 事業局 事業部 KKT医療ナビ! Dr.テレビたん担当



特別コメンテーター
安成 英文氏
■ たまな在宅ネットワーク 代表
■ 安成医院 院長



総合司会
前田 圭介氏 ■ 食事ケアサポーターズ代表
■ 玉名地域保健医療センター内科医長

日時 平成26年8月23日(土)
開場13:30 / 開演14:00～16:30

参加料 500円
申し込みは不要です。
この研修会は
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の
助成を受けています

場所 玉名市市民会館 別館 (玉名市岩崎152-2)

主催 / NPO法人食事ケアサポーターズ、たまな在宅ネットワーク

演者の紹介

石黒幸枝（いしぐろ ゆきえ）

歯科衛生士

前滋賀県歯科衛生士会会長。摂食嚥下問題に体を張って取り組んでいる、現場をよく知る方です。地元の研究会のみならず多くの全国学会等でもご活躍されています。

奥村圭子（おくむら けいこ）

管理栄養士・ケアマネージャー

管理栄養士とケアマネージャー業を行いながら、国立長寿医療センターの大学院生として日々研究も行うスーパーウーマン。愛知の摂食嚥下研究団体「在宅療養支援の和」の世話人も務められご活躍中です。

松本龍（まつもと りゅう）

テレビマン

ご存じKKTのドクターテレビマン製作者。食欲旺盛風なキャラとプレゼン好きをかわれ登場されます。その仕事内容から、熊本一病院を知る男と呼ばれています。テレビ制作者から見た食と病院についてお話いただきます。

